

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	詳細点検
事務事業名						事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名						シート番号	07-39
市民人権		局	男女共同参画推進	部	男女共同参画推進	課	評価責任者(課長名)
							植松

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	5	男女共同参画の推進	無
	2	事業開始年度	平成 12 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	・堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例 ・堺市男女共同参画交流の広場規則			
	4	関連計画	・第4期さかい男女共同参画プラン(改定)			
5	事業実施の経緯	男女の対等なパートナーシップの確立をめざし、市民が男女共同参画に関する情報を得ることができ、また、男女共同参画に関する活動を行うグループが交流しネットワークする場として「堺市男女共同参画交流の広場」を2000年(平成12年)10月11日に男女共同参画推進課の分室として開設した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	男女共同参画社会の実現に向けて活動する個人やグループの活動支援を行い、相互交流を促進することを目的としている。また、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人が、その不安や悩みを相談し、気持ちや感情を整理することでいきいきと自分らしく生きていくきっかけをつかむための相談先を確保することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○男女共同参画に関する活動をする市民グループの活動やネットワークづくりのための交流の場・活動の場としてオープンスペースを提供するとともに、男女共同参画に関する情報を収集し、広く市民に提供する。また、図書・ビデオ(DVD)の館内閲覧や貸出などによる情報提供も行う。 ○相談業務(カウンセリング業務)については、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱える女性を対象とした「女性の悩みの相談」、同様に悩みを抱える男性を対象とした「男性の悩みの相談」を実施する。 ○DV被害者同士が安心して自らの悩みや体験を語り合うことで、被害者自身の気持ちや感情を整理し、DV被害からの回復を図る「DV被害者サポートグループ」事業を実施する。 ○男女共同参画交流の広場に関する情報を掲載した情報紙「ひろばだより」を年4回発行する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 有限会社フェミニストカウンセリング堺				

Ⅲ. 投入量

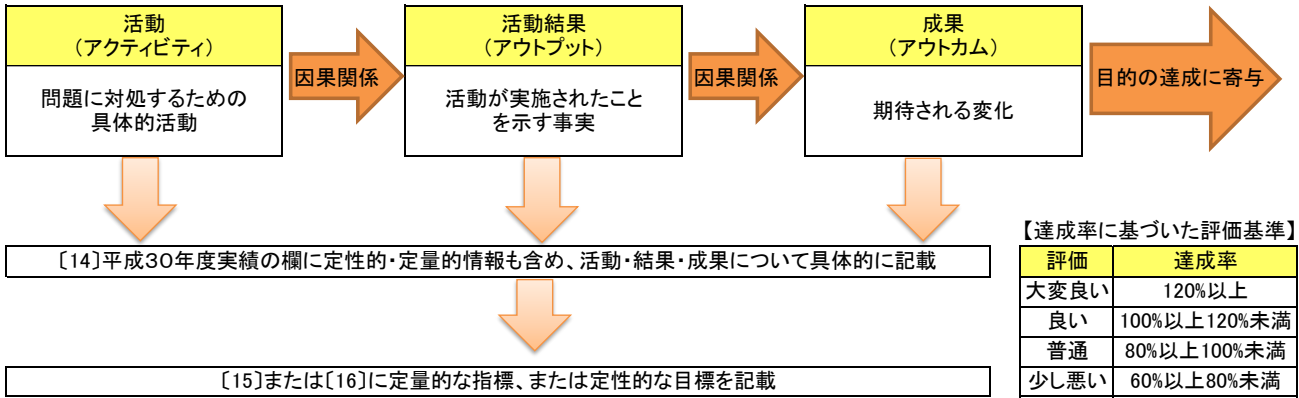
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費(a)	千円	6,331	6,327	6,347	7,181
	主な事業費内訳	運営業務委託料	千円	6,256	6,256	6,256	7,089
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	6,331	6,327	6,347	7,181
12	人件費(b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,971	7,967	7,987	8,801	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業	シート番号	07-39
-------	-----------------	-------	-------

Ⅳ. 評価 (測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

		平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>○グループ活動やネットワークづくりのための交流の場・活動の場の提供 男女共同参画に関する活動をする市民グループの活動やネットワークづくりのための場として提供し、これにより、利用者の男女共同参画に対する意識醸成や、本市の男女共同参画の推進に寄与することができたと考えられる。平成30年度利用者数は、延べ2,078人。</p> <p>○ビデオ・図書の貸出・館内閲覧による情報提供 男女共同参画に関するビデオや図書の貸出・館内閲覧を行うことにより、様々な角度から男女共同参画に触れてもらい、知識を習得してもらうことに寄与できたと考えられる。平成30年度の貸出実績…ビデオ:25件、図書:30件(ビデオ館内閲覧:1件) また、パソコンを設置することにより、ビデオや図書から得ることができる情報以外にも、情報を得ることができる環境を整え、男女共同参画に関する情報に触れていただく機会を提供した。(平成30年度パソコン利用件数:53件)</p> <p>○相談事業 女性の悩みの相談、男性の悩みの相談ともに多くの方に利用していただいた。相談者の様々な悩みを相談者の視点に立ってカウンセリングを行うことにより、相談者自身による問題の解決と回復の支援に寄与することができた。 平成30年度実績…女性の悩みの相談:315件、男性の悩みの相談:58件(内電話相談件数:23件)</p> <p>○DV被害者サポートグループ事業 DV被害者の自立や心身の回復を図るために、被害者同士が自らの悩みや体験を語り合う交流会を2カ月に1度実施した。参加者は本音で話すことができ、前向きな気持ちになったり、心が和らいたという声が多かった。DV被害からの回復に寄与できたと考えられる。</p> <p>○広場に関する情報紙の発行 3カ月に1度、年4回発行。広場に関する情報を掲載し、それを市関係施設や関係団体に配架・配布することで、広場の周知を行った。</p>							
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			相談件数	件	目標値	457	462	452	459
					実績値	388	392	373	
					達成率	85%	85%	83%	
		評価			普通	普通	普通		
		算出方法・設定根拠など		不安や悩みを抱える人々の相談件数(女性の悩みの相談・男性の悩みの相談)					
		16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			年間利用者数	人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100
					実績値	2,455	2,206	2,078	
達成率	79%				71%	67%			
評価	少し悪い	少し悪い			少し悪い				
算出方法・設定根拠など		第4期さかい男女共同参画プラン(改定)の指標として掲載							

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>利用者数増加のために、市民に対する当広場の認知度を向上させる取組が必要である。SNSや委託業者のブログ等、現在用いることができていない媒体を使用して、様々な人に情報がいきわたるよう努める。登録グループについても、登録数が減少傾向にあるため、登録してもらうことによるメリットを感じてもらい、登録数増加につなげていく。 相談業務については、キャンセル数も含めた申込件数の総数は、520件(女性434件、男性86件)で年間の相談件数(452件)を超えており、キャンセルが発生した場合は、次の予約者から順次相談を行う。但し、心理カウンセリングのため精神的な悩みを抱えている方が多く、直前でキャンセルされる方もおり、次の方にまわせない事もあるが、一人でも多くの方に相談していただけるよう努める。</p>
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。